

# 接続料の算定に関する研究会

## 優先転送機能について

2017年4月26日

一般社団法人 テレコムサービス協会



# POIの増設と県間伝送路

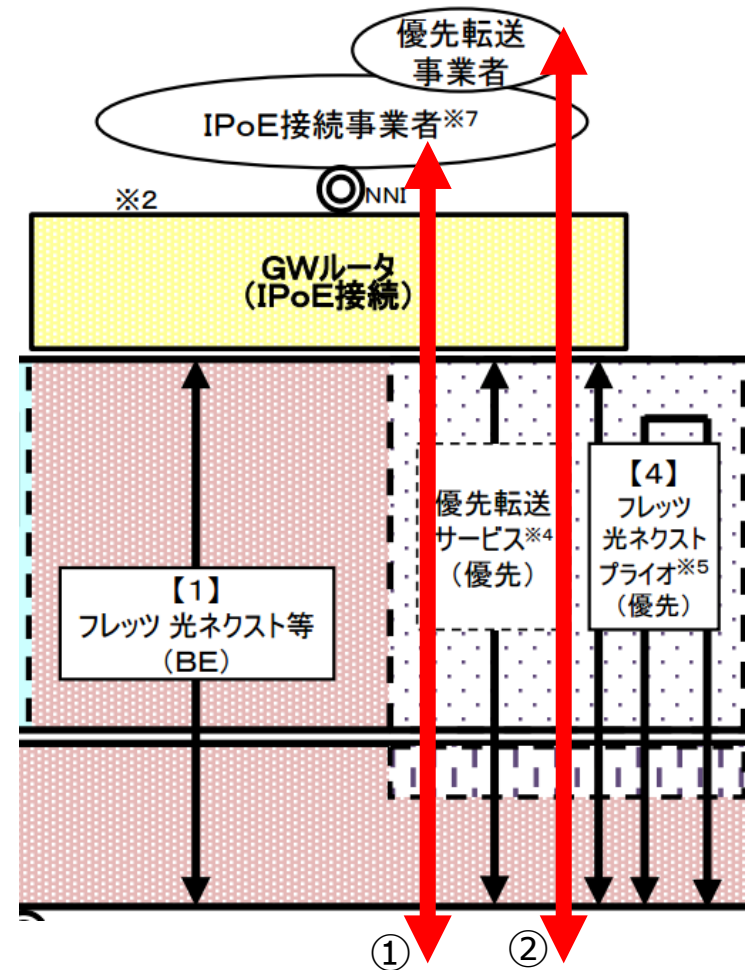
- NTT東西殿資料  
「都道府県単位や地域ブロック単位にPOIを今後増設する方向で事業者間協議が進んでいる」
- 県単位でPOIが設置されれば、県間伝送路の選択可能
- 県単位でPOIが設置されなければ、県間伝送路の透明性が必要ではないか？

# 優先転送機能のデータ通信での利用

- 優先転送機能の利用用途
  - VPN
  - DA64等の低速専用線の代替
  - TV会議等
- 優先転送機能はデータ通信での利用も有益
- データ通信で特別な制限なく、競争力のある料金で、簡単に迅速にスモールスタートできるようにしてほしい
- 優先パケットの制限を行う場合には…
  - ルールの透明化
  - 状況の可視化

# 優先転送機能のデータ通信での利用

- 優先転送機能の有効な利用には…
  1. IPoE接続事業者として利用する
  2. 優先転送事業者として利用する
- 利用を促進するためには…
  - 小容量化や接続料の低廉化をはかり、IPoE接続事業者の敷居を下げる
  - IPoE接続事業者がIPoE機能を優先転送事業者に提供



総務省 接続料の算定に関する研究会  
第1回資料1-2より引用

# 従来の機能との相互利用

- NGNの折り返し機能を用いたVPNを構築
- 優先機能と折り返し機能を利用したハイブリッドVPN
  - ベストエフォートと必要な部分の優先転送
- 1つのUNIで、データ通信で優先転送機能と現状の機能(折り返し機能)が使えると利用用途が増える

